




EP.

7

世界にリベンジ

与国 秀真
YOKUNI Hotsuma

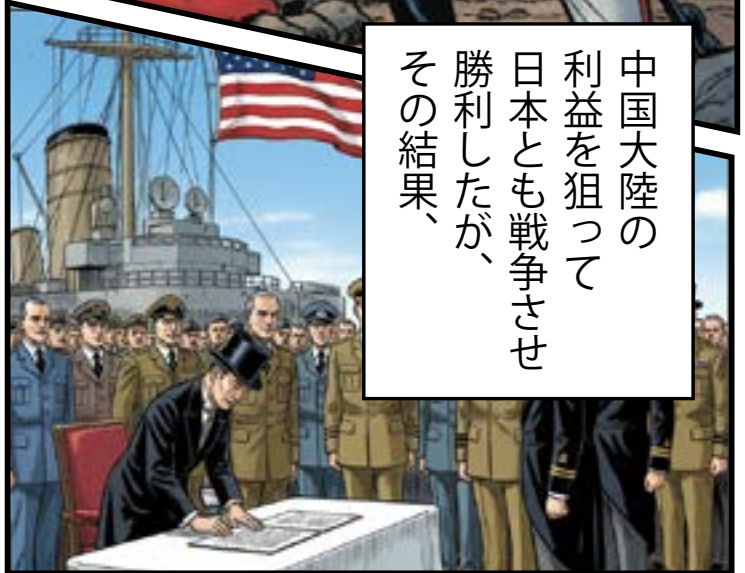


『国際銀行家』は、
アメリカ力を使って
世界を動かしている。



領土を得るために
メキシコと戦争し、

スペインと
戦争して、
フィリピンの
領土を獲得。



中国大陸の
利益を狙って
日本とも戦争させ
勝利したが、
その結果、

**アジア・アフリカの
植民地は
解放されてしまった。**



世界に統一政府を
つくりたい
彼らにとって

植民地解放は
想定外のことであり、
自分たちの計画を
阻んだ日本は、

彼らの
最大敵国
となった。

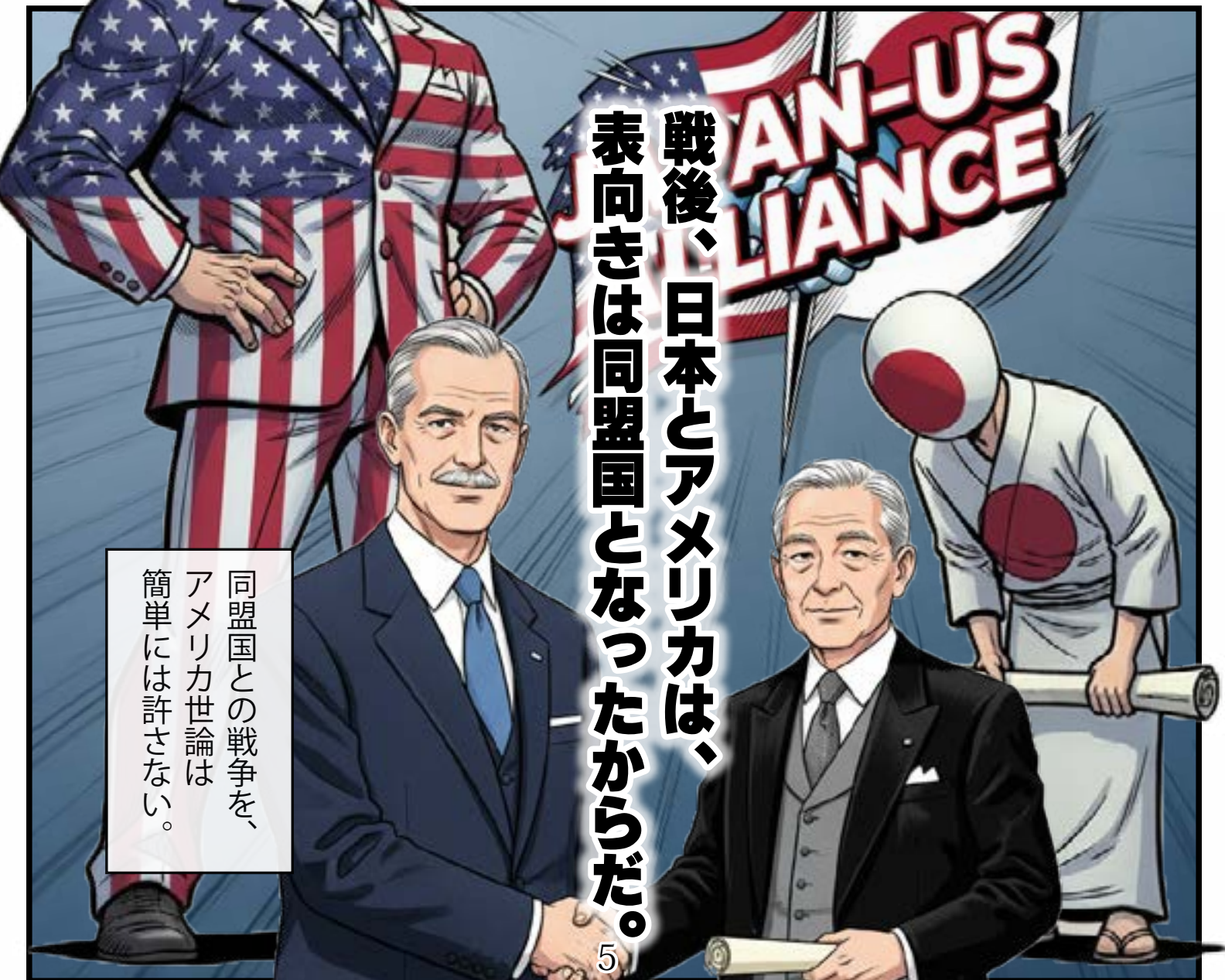
このやっかいな
「イエロー
モンキーの国」を、

何としても
叩き潰さねば
ならない…



しかし、
アメリカを使って
世界を動かしてきた
彼らは、

日本に再び戦争を
仕掛けることが
できなくなった。



戦後、日本とアメリカは、
表向きは同盟国となったからだ。

同盟国との戦争を、
アメリカ世論は
簡単には許さない。

そいつで登場するのが、
「中国共産党」である。

中国は幾多の思想家、
英雄を輩出した
「眠れる獅子」と
呼ばれた大陸だが、

アヘン戦争に敗れて以来、
本来の誇りある姿を
失ってしまった…


恕の心（思いやり）
を説いた孔子、

「無為自然に生きる」
と説いた老子、

平和のために
「兵法」を説いた孫子…


先人たちが培った
叡智の数々は
中国共産党によって
さらに破壊され、

「中国」は
全く別の国に
なってしまった…



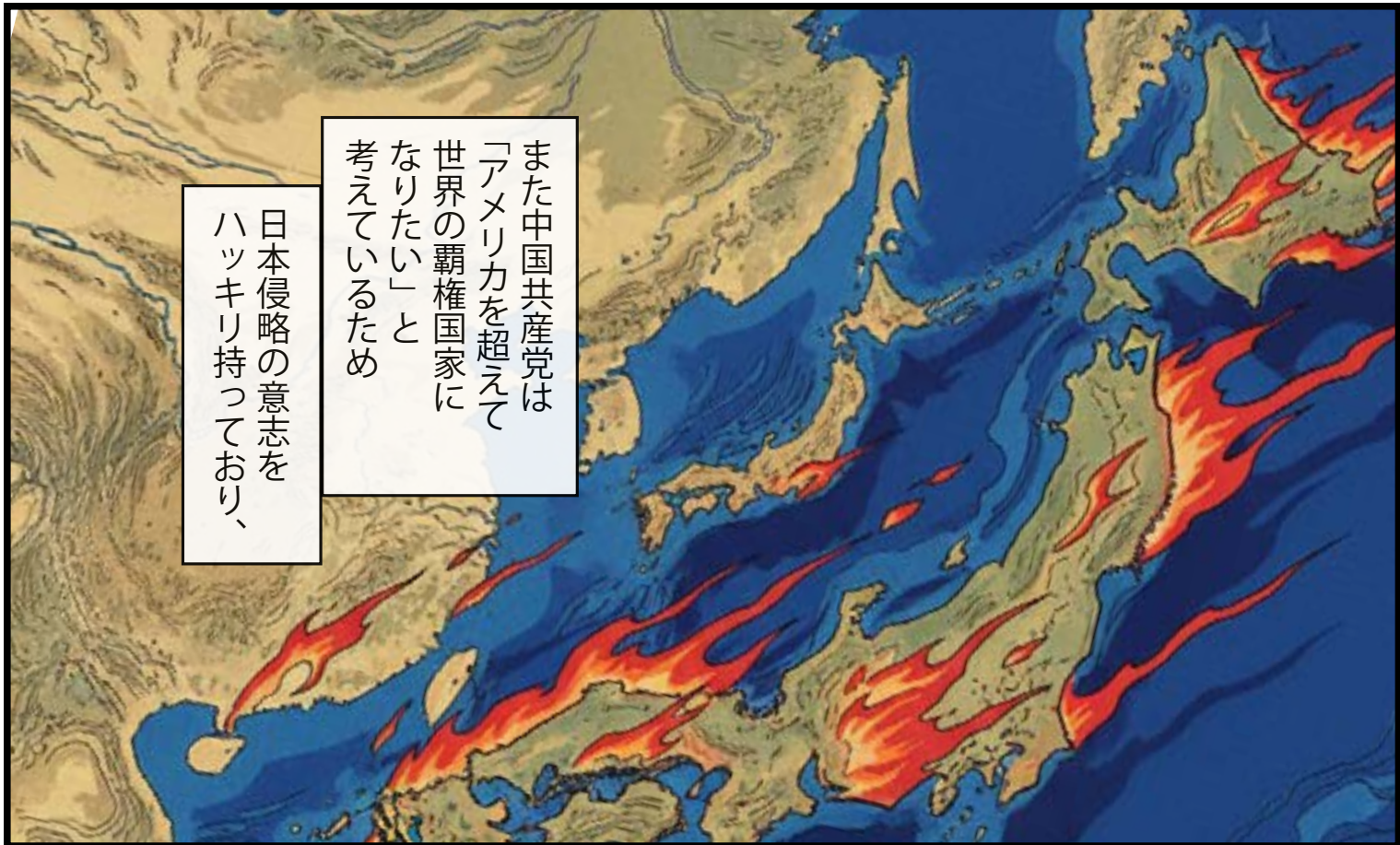
偉大な思想を失った
「中国」を率いる
中国共産党の思考は

国際銀行家と
似たものとなった。



どちらも、
国家のルールよりも
自分たちのルールを
優先し、

選ばれたエリートが、
貧しい大衆を、
支配することを
「正義」としている。



また中国共産党は「アメリカを超越して世界の覇権国家になりたい」と考えているため

日本侵略の意志をハッキリ持っており、



「日本は敵」と考える国際銀行家と、利害も一致した。



中国共産党は
日本の政治家や
官僚を取り込みながら



こうしたことから
国際銀行家は、
中国共産党の
侵略を黙認した。



日本を窮地に
追い込む悪法を
次々と成立させている。

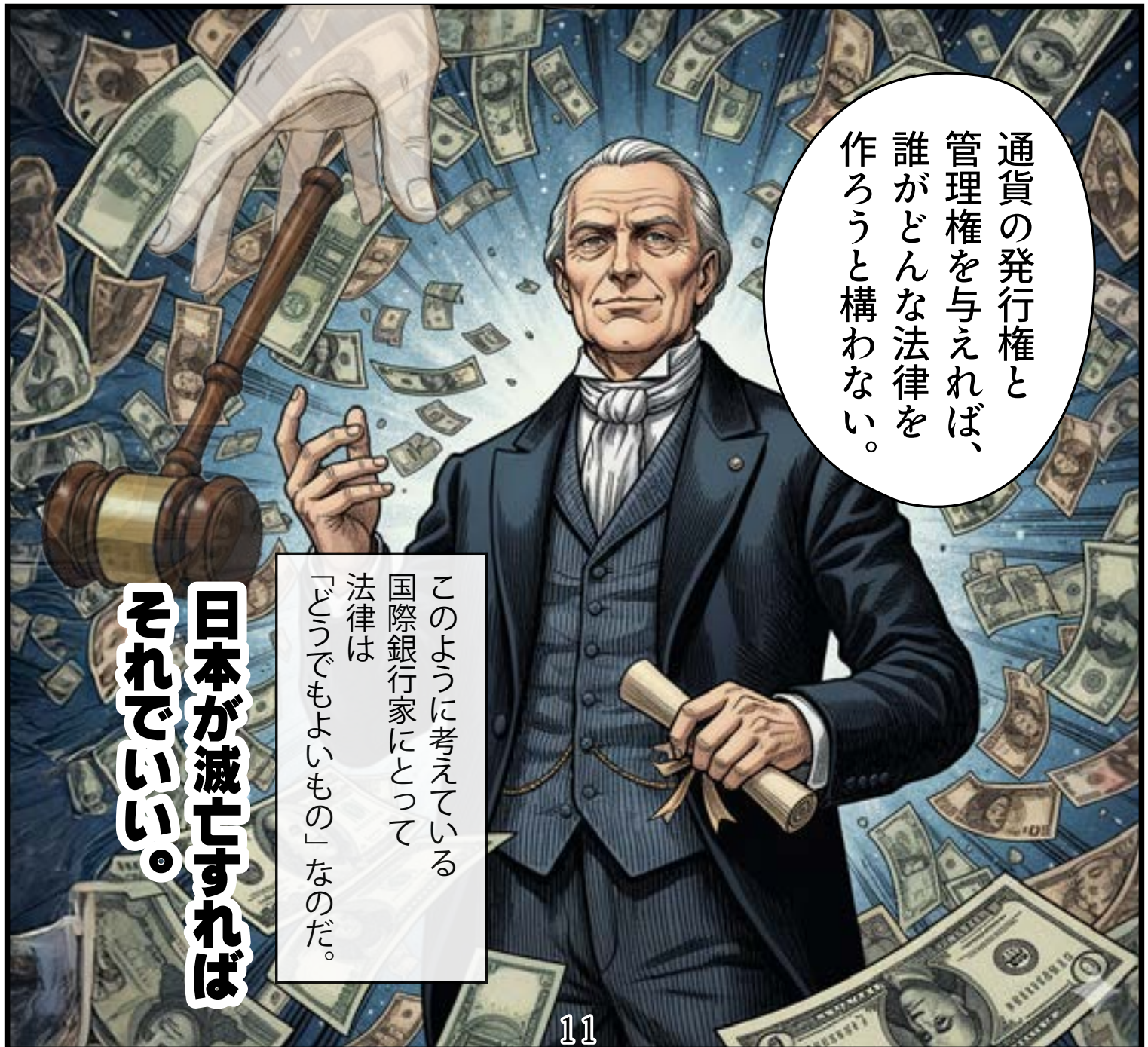


これを放置すれば、
法律に則って
日本は滅亡に向かう。



「法律」は、国民が
よりよい人生を
送るために守るべき
「共通ルール」であり、

国を運営する上で
とても大切なものだ。
しかし、



通貨の発行権と
管理権を与えれば、
誰がどんな法律を
作ろうと構わない。

このように考えている
国際銀行家にとって
法律は

「いつでもよいもの」なのだ。

**日本が滅亡すれば
それでいい。**

今、日本は、
国際銀行家と
中国共産党の
日本侵略によって

静かに、ゆるやかに、
滅亡に向かって
歩まされている。

これが、
日本滅亡のための
悪魔のシナリオだ。

最大の敵国である
日本が滅亡すれば、
世界は悪魔の手中に
落ちてしまう。

それを防ぐため、
日本人は世界に
「リベンジ」
しなければならない。

日本人一人一人が
その使命に
目覚めることを願い、

また、中国大陸に
受け継がれた思想を、
中国人一人一人が取り
戻すことを願い、

日本に仕掛けられた
侵略戦争を
一つずつ紐解いていく。